

ゆめまちでの感染防止活動基準について

	項目	基準	参考(新しい生活様式)
共通	体調調査	体調不調者は参加不可 体温計で参加者全員計測。参加者名簿に記録後、活動開始。 (体温計を貸し出すので、使用後直ちに返却)	7/8 内閣官房通知に準拠 「不調時は自宅療養」
	参加者名簿 (感染発生時以外 開封せず)	終了時職員チェック後、封をして館に提出。 3週間保管後返却。引き取りない場合利用日1か月後細断。 (記入項目：氏名、電話、体調、体温、マスク、アプリ等)	7/8 内閣官房通知に準拠 「必要あれば利用者の連絡先の把握」
	厚労省接触アプリ	施設利用者の義務とされている。スマホ保有者に利用を要請	7/8 内閣官房通知に準拠
	換気	扉を開ける。換気扇強で運転。 二酸化炭素計測器の表示を確認しながら活動。 ブザーが鳴ったら直ちに休憩、窓開け。計測器の移動、電源 OFF 禁止。	厚労省指針
	間隔	部屋の定員の1/2。 マスク着用で2m以上。(対面しない場合1m以上) 対面で2m以上の間隔を開けられない場合はビニールシート等の遮蔽を間に置く。 必要に応じて部屋の変更、2部制にするなど参加人員削減	出来れば2m 最低1m 対面を避ける
	マスク	全員がマスク着用。休憩中も必須。 マウスガード等不可、不織布マスク推奨。 熱中症防止のため休憩を早めにとる。	症状が無くてもマスク
	手指消毒	都度消毒。各団体でアルコール消毒用品持参。	まめに手洗い、消毒
	軽食(申請要)	2時間帯の間の軽食のみ。横並び2m間隔(対面、会話禁止)	屋外、横並び
	発声	マスクなしの大声禁止	十分な距離を開けて
個別	調理	マスク着用。全て持ち帰り(食中毒にならないメニュー)	テイクアウト推奨、屋外、横並び
	ダンス	マスク着用、手袋(社交ダンス) 社交ダンスはできるだけストレッチ、シャドー。組む時は手袋	業種別指針を参考 (ダンス協会)
	管楽器など (吹く楽器、吹矢)	演奏時のみマスク不要。休憩中はマスク。対面禁止。2m以上。 唾液を床・テーブル・壁等に滴下・付着させない。参加者相互に付着させない。	業界各種データ
	合唱	マスク着用。 対面禁止。楽譜の共用不可。前後2m、左右1m以上。	業種別指針(合唱協会)
	カラオケ	マスク着用。 2m以上間隔。対面、デュエット不可。マイク用消毒ティッシュ、ビニール手袋、ゴミ袋持参。	業種別指針 (カラオケ業界団体等)
	卓球	マスク着用。台間距離4m以上(3台まで)。 ダブルス不可。 休憩間隔椅子1m以上。台を手で拭かない。(台は消毒不可)	業種別指針 (卓球協会)
	空手	マスク着用：間隔2m以上。対面可。組手をできるだけ避ける。	業種別指針(空手連盟)
	バンド	管楽器使用時は上記管楽器の例による。歌唱は上記合唱の例による。	合唱、管楽器基準準拠
	対面する活動 (2m未満)	マスク着用。ビニールシート等の遮蔽を間に置く。 対象例) 囲碁、カードゲーム、麻雀、相談会等	
その他の活動	マスク着用し、「共通」の基準の範囲内で実施。 マスク不着用特認は中止	申請時業種別指針を参考に検討	
違反		以降の使用許可の取り消しや、新規発行お断りすることがあります。	

強力な変異型ウィルスが広がっています。

あなたは知らぬ間に感染するかも知れません。仲間を感染させないために何をしなければなりませんか？

5月15日より感染防止活動基準が変わります

変異型ウイルス感染が拡大し、栃木県、小山市も例外ではありません。
より効果の高い感染防止策を取るため、活動基準を厳格にします。

主な、変更点

1. マスクの効果確保

- 効果の高い不織布マスクの推奨
- 効果が著しく低いフェイスシールド、マウスガードのみでは活動不可
- マスク不使用特認の中止

2. 人との間隔の厳守

- 対面 2m、それ以外 1m 以上の間隔の厳守
 - 卓球ダブルスの禁止
 - 油断大敵。ついつい近づいてしまいます。
 - 巡回の強化

- 対面で 2m 取れない場合は透明シート等で遮蔽

3. 二酸化炭素計測器への対応

マスク等の効果

	マスク			フェイス シールド	マウス ガード
	不織布	布マスク	ウレタン		
吐き出し 飛沫量	80% カット	66~82% カット	50% カット	20% カット	10% カット
吸い込み 飛沫量	70% カット	35~45% カット	30~40% カット	小さい飛沫に対して 効果なし (エアロゾルは防げない)	
ゆめまち では、	推奨			単独使用不可 (マスクと併用可)	

理化学研究所、豊橋科学技術大学、神戸大学のシミュレーションによる